

経尿道的膀胱腫瘍摘出術（火曜日入院）を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID: _____ 患者氏名: _____ さん

	入院当日 (手術前日)		手術当日	月 日	術後1日目	術後2日目	術後3日目～4日目	退院日		
	月 日	月 日	手術前	手術後	月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日		
目標	入院から退院までの経過がわかり、心身ともに手術を受ける準備ができる。			血尿や痛みによる苦痛がない。		血尿が落ち着き、尿の管を抜くことができる		退院後の過ごし方がわかる		
説明指導	看護師より入院中のオリエンテーション（説明）を行います。 医師から手術の説明を行います。承諾書、輸血同意書にサインしていただきます。看護師より術前オリエンテーションを行います。 		ご家族に医師から手術後の説明をします。		離床の説明をします。なるべく早期に歩いたほうが回復が早まります。 		1日に1000～1500mLの尿量を目安に、1500～2000mLの水分を摂りましょう。（夕食後からは控えめに） 		退院後の注意点についてパンフレットを用いて説明します。1日に1000～1500mLの尿量を目安に、1500～2000mLの水分を摂りましょう。（夕食後からは控えめに）血尿、発熱など症状の変化があったときは、早めに受診してください。定期的な受診をしましょう。	
治療処置点滴	麻酔科の診察があります。			手術後、翌日まで点滴が続きます。 		点滴を2本行います。10時と16時に抗生剤の点滴をします。点滴が終わったら、点滴の管を抜きます。				
検査				血液検査、レントゲンがあります。 						
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。内服薬は基本的に継続内服とします。（中止する薬がある時は説明します。）					抗凝固薬を休薬していた場合は、主治医の指示で再開します。 				
生活行動安静度	特に制限はありません 		_____ 時頃、主治医・看護師と手術室へ移動します。それまで病室で安静にさせていただきます。 下肢の静脈血栓予防のためフットポンプで足のマッサージをします。		歩行ができるようになります。初回歩行は看護師が付き添います。		特に制限はありません。		手術後1～2週間頃にかさぶたがとれ血尿ができることがあります。安静にして、水分を多めに摂取してください。だんだん薄くなるようであれば心配ありません。性生活は約1か月間控えましょう。	
排泄			_____ 時頃、浣腸をします。		手術室で尿の管が入ってきます。		排便のときはトイレまで歩行できます。		様子を見ながら尿の管を抜きます。	便秘でりきむと出血しやすいため、りきまず排便を行えるように、水分の摂取と下剤の服用で調節してください。
清潔	シャワー浴ができます。 		肌着は脱いで、パンツと病衣のみに着替えます。寒い時は、靴下や上にカーディガンや羽織ってもよいです。リストバンドを確認します。		体を拭きます。 		体を拭きます。シャワー浴が許可になる場合があります。 シャワー浴ができます。 		入浴ができます。※出血を予防するため熱いお風呂や長風呂はさけてください。 	
食事	基礎疾患（糖尿病・高血圧など）に応じて治療食をお出しすることもあります。 		夕食後から食事はできません。		何も食べられません。_____ 時以降水分を飲むことができません。		手術後の状態に応じて、水分・食事が開始となります。 		約1ヶ月はアルコール類や刺激の強い食品は避けましょう。	
その他	院内禁煙となっております。大部屋での携帯電話の使用はご遠慮ください。		付き添いは必要ありません。		痛み、尿がつまったと感じたとき、吐き気がありましたら看護師にお知らせください。				退院後に異常がありましたらすぐにご連絡ください。（尿が出にくい・血尿・排尿時に血塊が出た・38度以上の発熱）	

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
泌尿器科